

市長施政方針

(はじめに)

我が国の経済は、昨年、賃上げ率の伸びや有効求人倍率の上昇が見られたように、緩やかな回復基調が続いております。

今年1月に出された国の経済見通しによれば、新興国等の景気の下振れや金融資本等の動向などの先行きリスクはあるものの、堅調な民需に支えられた景気回復が進展すると見込まれており、今後も明るい傾向が継続することが期待されるところです。

こうした中、国においては、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく地方創生の推進のほか、「一億総活躍社会の実現」に向けたプランの公表など、好循環の強化に向けた方針を打ち出しており、これを反映した当初予算案を編成しております。

また、県においては、改定した「ひろしま未来チャレンジビジョン」で、仕事や暮らしが充実した魅力あるライフスタイルの実現を目指す姿として設定しており、来年度の「県政運営の基本方針」においては、昨年度に引き続き、大きな柱のひとつとして掲げた「地方創生」などを通じて、これに取り組んでいくこととしております。

このように、国や県においては、引き続き、地方に目配りしつつ、経済の活性化や暮らしの充実に取り組む姿勢が打ち出されていることから、本市としても、こうした動きに呼応しつつ、江田島市の元気づくりに資する効果的・効率的な施策を、着実に推進していく必要があると感じているところでございます。

(予算編成方針)

昨年とりまとめた「江田島市人口ビジョン」にあるとおり、本市の人口は、これまで一貫して減少傾向で推移しており、将来の人口推計は、平成72年に約8,200名まで減少すると予想されている状況にあります。

これからも、江田島市が、活気があり、住みよいまちであり続けるためには、行政のほか、市民、団体など、多様な主体の理解と協力による、市の総合力の発揮が必要となってきております。

昨年10月には、「第2次江田島市総合計画」を踏まえつつ、人口問題に対応していくため、「縁づくり」や「縁の承継」など、「縁」を重点的なキーワードとした「江田島市総合戦略」を策定いたしました。

平成28年度予算は、この「江田島市総合戦略」の策定後、初めての予算であるとともに、私の2期目における最終年度の予算となります。

来年度におきましては、引き続き、私の2期目のスローガンであります「交流・創造・実感」及び「行財政改革の着実な推進」を重点テーマとして掲げつつ、これまで築いてきた成果を活かし、更なる未来に引き継いでいくことを意識したうえで、「第2次江田島市総合計画」に将来像として掲げる「交流と協働で創り出す『恵み多き島』えたじま」の実現に向け、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

それでは、まず、重点テーマであります「交流・創造・実感」についてでございます。

「交流」につきましては、交流人口の増加を戦略的に推進するための専門人材を登用する「恵み多き島マーケティング事業」や、地域課題の解決等に取り組む意欲ある人材を登用する「地域おこし協力隊事業」など、外部人材の持つパワーをまちづくりに活かすための取り組みを盛り込んでおります。

また、交流や協働のグローバル化に対応するため、外国人観光客などを対象とする「多言語パンフレット作成事業」や、外国人市民に対する日常生活上の相談や通訳などを行う相談員を配置する「多文化共生相談員の配置」を盛り込むとともに、交流から定住への発展を促進するため、えたじま暮らし体験の提供などを実施する「交流定住促進事業」などを盛り込んでおります。

これらにより、市内外の新たな人の流れなどから生み出される、江田島市の縁づくりや活力づくりを進めてまいります。

次に、「創造」につきましては、新規漁業就業者の確保と育成を図る「江田島市新規漁業就業者支援事業」や、新たな起業・創業者を支援する「起業支援事業」、オリーブの栽培や6次産業化を促進する「オリーブ振興推進補助事業」、仕事と求職者のマッチングを図る「無料職業紹介所事業」など、市内における仕事づくりや、仕事のマッチングを推進する取り組みを盛り込んでおります。

また、保育施設の環境を整備する「認定こども園おおがき増築及び大規模改修工事」や、中学生の英語力の向上等を図る「外国語指導事業」、大柿高校における公営塾の運営等を支援する「大柿高校魅力化事業」など、子育てや教育の充実を図る取り組みも盛り込んでおります。

これらにより、地域の新たな価値や仕事の創出及びそれを未来に紡ぐ人材づくりを進めてまいります。

さらに、「実感」につきましては、妊婦が産科で健康診査を受ける際の交通費の負担軽減を図る「妊婦健康診査交通費等助成事業」や、特定健康診査への検査項目の追加などを行う「特定健康診査追加健診事業」、防災情報や緊急情報の自動音声発信サービスを実施する「防災行政無線難聴地区解消事業」、景観及び環境悪化を招く海岸漂着ごみの回収・処理を行う「海岸漂着物等地域対策推進事業」など、安心・安全な暮らしを支えるとともに、生活環境の向上を図るための取り組みを盛り込んでおります。

これらにより、満足度が高く、住み続けたいまちの暮らしづくりを進めてまいります。

続いて、「行財政改革の着実な推進」についてでございます。

これまでも、将来にわたって持続可能な基礎自治体として、スリムで効率的な行財政運営を確立するための取組を進めてきたところでございます。

しかしながら、今後、老朽化等に伴う公共施設の更新や維持修繕に要する経費の増加などが見込まれることから、引き続き、しっかりと財政健全化に取り組み、総合計画などの着実な推進に必要な経営資源を確保していく必要があります。

このため、「選択と集中による重点化」や、「民間活力の活用」、「市民ニーズに応じた組織体制の構築と人材育成」などを図りつつ、「第2次総合計画」、「第3次行財政改革大綱」並びに「第2次財政計画」を一体のものとして着実に推進し、取組の実効性を高めてまいります。

今回の予算は、限られた財源の中で、「選択と集中」を徹底しながらも、人づくり・仕事づくりを通じた新たなチャレンジの推進や、景観や危機管理など安心・安全な暮らしの確保、さらには、平成31年度までの合併特例債の発行期限を見据えた、「公共施設のあり方に関する基本方針」に基づく集中的な施設整備など、重点施策のテーマである「交流・創造・実感」を推進し、将来にわたって活気があり、暮らしやすい「ふるさと江田島市」を構築するためのハード・ソフト両面の取り組みを、積極的に盛り込んだ予算としております。

このため、今回の予算は、『未来への種を育む予算』とすることができるのではないかと考えております。

(平成28年度当初予算の概要)

平成28年度の当初予算は、一般会計が前年度と比べ「7億8千5百万円」5.2%増の157億5千万円となりました。

また、特別会計は9会計で、前年度と比べ「8百万円」0.1%減の90億5千7百万円、企業会計は2会計で、前年度と比べ「6百万円」0.2%減の31億1千5百万円となりました。

企業会計を含む総予算規模は279億2千2百万円で、前年度比2.8%の増でございます。

一般会計の内容を歳入から見ますと、市税では、納税義務者数の減少が見込まれるものの、個人所得割額の増による個人市民税の増加、法人税割の増による法人市民税の増加などにより、前年度に比べ1千3百万円の増(0.5%)、地方交付税は、合併特例加算の縮減が開始され2年目となりますが、前年度の交付実績や基準財政需要額の算定見直しなどを考慮し、前年度と同額を見込んでおります。

国庫支出金は、農林水産業費国庫補助金や土木費国庫補助金の社会資本整備総合交付金の増加があるものの、学校施設環境改善交付金の減少などにより6千8百万円の減(▲5.3%)、県支出金は、農林水産業費県補助金や土木費県補助金の減少などにより4千6百万円の減(▲4.9%)となっております。

市債は、庁舎整備事業、公共施設再編整備事業、保育施設整備事業などの普通建設事業費の増加などにより、前年度に比べ6億4千7百万円の増(38.2%)となっております。特に合併特例債の額が増加しております。

なお、財源調整として、前年度と同様、基金の取り崩しを行っており、今回の予算では財政調整基金から3億2千万円を見込んでおります。

一般会計におけるプライマリーバランスは赤字となり、平成28年度末の市債残高は平成27年度末に比べ4億4千3百万円増加する見込みです。

歳出におきましては、義務的経費は、生活保護費、福祉医療費の減により扶助費が減少、市債元利償還金の減により公債費が減少しましたが、人件費が職員手当、共済費の増などにより増加したことから、全体で7千7百万円の増（1.1%）となりました。

投資的経費については、小学校屋内運動場耐震補強及び大規模改修工事の減に伴い、補助事業が2億5千1百万円の減（▲40.3%）、庁舎整備事業、公共施設再編整備事業、保育施設整備事業などの実施に伴い、単独事業が8億9千5百万円の増（74.8%）、港湾建設事業県負担金などの増加により県営事業負担金が7千9百万円の増（60.3%）で、全体で7億5百万円の増（35.3%）となっております。

補助費等については、新たな補助制度の創設や補助内容の見直し、また、下水道事業会計への繰出し（補助）の増加などにより、5千5百万円の増（2.8%）、繰出金については、地域開発事業特別会計への繰出しの減少などにより6千9百万円の減（▲6.2%）となっております。

（主要施策）

それでは、平成28年度の主な事業について、第2次総合計画に掲げる施策体系ごとに、新規・拡充事業を中心に説明いたします。

1 「人が育ち、輝くまち」 ※教育・文化部門

- 中学生の英語力の向上を図るため、英語検定の検定料に対する支援などを行います。
（事業名：【新規】外国語指導事業）
- 情報活用能力など社会の変化に対応する子どもの力を育むため、モデル校において、情報端末を用いた授業実践の研究を実施いたします。
（事業名：【拡充】ICT活用事業）
- 市内中学校に空調設備を設置し、生徒の学習意欲を高め、学力の定着・向上を図るための環境を整備いたします。
（事業名：【新規】江田島市立中学校施設空調設備設置工事）
- 大柿高校の教育の振興や活性化を図るため、公営塾の運営や県内外生徒の下宿に要する経費並びに台湾姉妹校との交流活動に要する経費を支援いたします。
（事業名：【新規】大柿高校魅力化事業）
（事業名：【新規】灘尾基金国際交流支援事業）
- 地域を愛し、地域に根付いた人材を育成するため、大柿高等学校における「地域学」の学習支援を行います。
（事業名：【新規】大柿高校地域学活動補助金）

2 「元気な産業・観光を生み出すまち」 ※産業・観光部門

- 意欲ある農業・漁業就業者の確保と育成を図るため、農業研修の実施や、農業・漁業研修修了者が独立する際に必要な経費を支援いたします。
（事業名：【新規】江田島市新規漁業就業者支援事業）
（事業名：【継続】新規就農者支援対策事業）

- 生産者直営のかき小屋を運営するために必要なハード施設を整備し、事業化に当たつての課題等を抽出する実証実験を実施いたします。
(事業名：【新規】実証実験かき小屋補助事業)
- オリーブの栽培及び6次産業化を推進するため、植栽や商品開発等に関する支援を拡充します。
(事業名：【拡充】オリーブ振興推進補助事業)
- 新たな仕事の創出を図るため、市内において新たに起業する中小企業者及び新規創業者に対する支援を実施いたします。
(事業名：【新規】起業支援事業)
- 江田島市社会福祉協議会内に、無料職業相談所を設置し、求人事業所と求職者のマッチングを行います。
(事業名：【新規】無料職業紹介所事業)
- 本市周辺を訪れる外国人観光客や、本市在住の外国人を対象として、多言語のパンフレットを作成し、交流人口の拡大を図ります。
(事業名：【新規】多言語パンフレット作成事業)

3 「健康で安心して暮らせるまち」 ※福祉・保健部門

- 妊婦が、健康診査のために、市外の産科へ通院する際の交通費を支援し、妊娠・出産時の負担を軽減いたします。
(事業名：【新規】妊婦健康診査交通費等助成事業)
- 受け入れ人数の増加や保育サービス統合に向けた対応を図るため、子ども・子育て支援事業計画に基づく保育施設の再編整備として、認定こども園おおがきの増築及び大規模改修工事を実施いたします。
(事業名：【新規】認定こども園おおがき増築及び大規模改修工事)
- 乳幼児や児童生徒の疾病の予防や、子育て世代の経済負担の軽減を図るため、乳幼児等の医療費助成の対象を拡充します。
(事業名：【拡充】乳幼児等医療費助成制度)
- 特定健康診査に検査項目を追加するとともに、がん検診をセットにすることにより、受診率の向上を図ります。
(事業名：【拡充】特定健康診査追加健診事業)
- 障害者等が自立した日常・社会生活を営むことができるよう、日常会話を行うために必要な手話や表現技術を習得した手話奉仕員を養成いたします。
(事業名：【新規】手話奉仕員養成事業)

4 「生活と環境を守り、高めるまち」 ※生活・環境部門

- 江田島市の美しい海と海洋資源の保全を図るため、景観及び環境悪化を招く海岸漂着ごみについて、回収・処理を行います。
(事業名：【新規】海岸漂着物等地域対策推進事業)
- 地球に優しい省エネルギー型社会の構築に向けて、住宅用太陽光発電システムの設置を支援し、普及を促進いたします。
(事業名：【継続】住宅用太陽光発電システム等普及促進事業)

5 「災害に強く、安心して暮らせるまち」 ※安全・安心部門

- 避難情報の的確な発令及び市民との防災情報の共有を図るため、雨量計及び海面・河川への監視カメラを設置いたします。
(事業名：【新規】防災情報監視システム事業)
- 防災情報や緊急情報の伝達能力を強化するため、メール配信と同時に、電話機で音声聞くことができる自動音声発信サービスを実施いたします。
(事業名：【新規】防災行政無線難聴地区解消事業)
- 心肺停止傷病者の救命率の向上を図るため、AED設置事業所の職員や従業員に対する講習を実施いたします。
(事業名：【新規】AED設置事業所に特化した応急手当普及啓発事業)
- 現有消防力の効果的な運用を図るため、庁舎の配置や必要な消防力などについて総合的な調査を実施いたします。
(事業名：【新規】消防力適正配置等調査事業)

6 「しっかりとした基盤を備えたまち」 ※基盤部門

- 修繕が必要な空き家の所有者に対し、将来の利用に関する意向調査を実施するとともに、それを踏まえた空家等対策計画を策定いたします。
(事業名：【新規】空き家等意向調査及び空家等対策計画策定事業)
- 建築物の地震に対する安全性の向上を図るため、法改正を踏まえつつ、「江田島市耐震改修促進計画」を改訂いたします。
(事業名：【新規】耐震改修促進計画策定事業)
- 公共施設等の総合的かつ計画的な管理により、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、最適配置についても併せて検討するための計画を策定いたします。
(事業名：【新規】公共施設等総合管理計画の策定)
- 将来の公共施設のあり方を見据え、ガイドライン等に基づいて、必要な庁舎の整備や、公共施設の再編整備を実施いたします。
(事業名：【継続】庁舎整備事業)
(事業名：【継続】公共施設再編整備事業)
- 公共交通の魅力向上のために、交通事業者が行う、公共交通の利便性の向上や利用者の増加を図る取組などを支援いたします。
(事業名：【継続】交通魅力アップ事業)

7 「地域が元気で、にぎやかなまち」 ※地域部門

- 総合計画や総合戦略に掲げる「交流人口の増加」を図るための専門人材を登用し、戦略の方向性の検討や、推進に関する総合的な企画調整を行います。
(事業名：【新規】恵み多き島マーケティング事業)
- 都市部在住の意欲ある人材を「地域おこし協力隊」として登用し、地域の課題解決や活性化を図ります。
(事業名：【新規】地域おこし協力隊事業)

- 多文化共生の推進に資するため、外国人市民に対する日常生活上の相談や通訳などを行う相談員を配置します。
(事業名：【新規】多文化共生相談員の配置)
- 市民参加型の協働のまちづくりを推進するため、意欲ある地域団体が提案する取組について支援いたします。
(事業名：【継続】まちづくり団体支援補助金(提案型事業))
- 持続可能な地域社会の構築に向け、えたじま暮らし体験の提供や住居取得の支援などにより、交流の拡大及び定住人口の確保を図ります。
(事業名：【継続】交流定住促進事業)

最後に企業会計についてでございます。

- 水道事業については、安全でおいしい水の安定供給に努めるとともに、老朽管更新事業を推進し、市民生活の向上に努めてまいります。
(事業名：水道事業)
- 下水道事業については、持続的・効率的な下水道整備と維持管理に努めるとともに、健全経営を目指してまいります。
(事業名：下水道事業)

なお、

- 交流人口の増加を戦略的に推進するための専門人材や地域おこし協力隊の活用
 - 新規の農業・漁業就業や起業に対する支援
 - 妊婦健診の交通費助成や乳幼児等医療費助成
- などの事業は、「江田島市総合戦略」における、「縁」をキーワードとした重点プロジェクトの関連事業として位置付けているものでございます。

このほか、東日本大震災の被災地支援につきましては、気仙沼市への職員派遣の継続に引き続き取り組んでいくこととしております。

今回の新規、拡充事業の内容につきましては、事業ごとに資料を作成したものを最後に添付しております。

以上が、江田島市の平成28年度当初予算の概要でございます。
慎重かつ十分にご審議をいただき、適切なるご判断をお願いいたします。